

【漢字大会に取り組む児童の様子】



豊福小校長室より

7月5日（金）の授業参観は、多くの保護者の皆様にお越しいただきました。お子様の学習の様子はいかがだったでしょうか。夏休みまであとわずか。梅雨明け前ですが、真夏を思わせる暑さです。熱中症に注意しながら教育活動を進めています。各御家庭でも早寝・早起き・朝ご飯ができますよう御配慮ください。

※カラー版は学校HPに掲載中です 令和6年7月9日 第11号 校長 志水 英子

漢字・計算大会 を実施しました

4月のPTA総会でも保護者の皆様にお伝えしていました漢字・計算大会を7月8日（月）に実施しました。（但し、専科等の授業との兼ね合いや学習進度によって別日に設定している学年もあります。御了承ください。）

「読み・書き・計算」は、学習の基礎・基本となる力ですので、なんとか子供たちに身に付けさせたいと思い、日々指導し、家庭学習でも繰り返し練習させています。

今年度は、漢字・計算大会を全校的に取り組むことで子供たちにもしっかり意識づけをし、学校一丸となって学力向上を目指していきます。

御家庭でも励ましや家庭学習の見届けを宜しく願います。

豊福小学校の子供たちに身に付けさせたい力

2 目標に向かって自ら取り組む力

今日は、「1 自尊感情（自己有用感、自己肯定感）を育む活動の推進」について考えていきます。

1 自尊感情（自己有用感、自己肯定感）を育む活動の推進

2 目標に向かって 自ら取り組む態度

「自己肯定感」を育てるために、私たち大人は、子供が頑張ったときに「○○をよく頑張ったね。」としっかり褒めることが大事です。そして、もっと大事なことは、特別なことがなくても子供の存在そのものを愛することです。

2 児童の能動的活動の推進による「やる気」の醸成

3 役割意識と自己有用感を育む掃除指導の推進

4 読み・書き・計算の習熟の徹底

5 読書目標の自己設定と振り返り

6 生活リズムの確立

「自己有用感」は、「相手」の存在が重要です。なぜなら、自己有用感とは相手との関係の中で育まれていくからです。この自己有用感が高まった子供は、「誰かの役に立ちたい」「誰かに必要とされていてうれしい」と感じると言われています。まさに、お手伝いはぴったり！夏休みは絶好のチャンス！

家庭では魔法の言葉を子供にたくさん伝えてください。それは、「手伝ってくれてありがとう」「助かった～」です。但し、お願いがあります。子供は失敗するものです。最初から何でも上手にはできません。もし、お手伝いをして上手にできなかったとしても結果より努力をチャレンジしたことをほめてください。きっと自分に自信を持ち、人に優しい、心温かい人になっていくでしょう。学校と家庭が共に同じ方向を向いて子供たちを育てて参りましょう。